

福岡市西部3R
ステーション

《福岡県福岡市》

地域の活動を支える
西部3Rステーション

(財)ふくおか環境財団 業務部リサイクル課課長

ふくしげ たかゆき
福岡 孝之

福岡市には、市民のごみ減量・リサイクル活動の普及・啓発の場として、“臨海3Rステーション”と“西部3Rステーション”の2つの市民啓発施設があります。ここでは、私が所属する(財)ふくおか環境財団が福岡市より委託され管理運営を行っている“西部3Rステーション”の紹介をします。

西部3Rステーションは、旧西部清掃工場の管理棟をリユースした施設で、現在稼働中の西部クリーンパークの隣にあります。このため、施設で使用する電気のはほとんどは、清掃工場で発生した余剰電力でまかなわれています。また、太陽光発電も行ったり、蛍光管や食品トレイを集める回収ボックスと紙類、衣類を回収するリサイクルボックスを設置したり、啓発活動だけでなく、環境負荷の低減を実践しています。リサイクルボックスの管理は、地域の環境ボランティア団体によって行われ、管理費が団体の活動資金の一部となっています。

3Rステーションの主な事業活動は、衣類と図書等のリユース事業、市民啓発講座や市民啓発イベントの開催等の3R啓発事業、そして、地域環境ボランティア支援事業などです。3R啓発事業としては、施設を訪れる利用者が気軽に楽しくリサイクルのものの作りを体験できるように「牛乳パックを利用した紙すき・砂絵ハガキ作り」や「廃油を利用したハーブ石けん作り」を行っています。また、

3Rを実践につなげるために、古着をチュニックやアロハシャツ、リバーシブルベストなどにリメイクする「リフォーム教室」、「パッチワーク教室」や「古布でぞうり作り教室」、「廃材木工教室」などさまざまな講座を企画しています。これらのリサイクルは、リサイクル品を作る人とそれを利用する人が直結しているため、実践しやすく、他の都市の啓発施設においても実施されている事業です。

本施設の特筆できる事業としては、家庭の生ごみを減量するために開催している「段ボールコンポスト講座」を発展させ、この講座で作ったコンポストを廃棄物埋立場の跡地を利用した畑で活用し、野菜を育てる「菜園講座」を実施し、採れた野菜で「エコ楽クッキング」を行うと言った一連の講座を行っていることです。

また、コミュニティ、地域、NPOのリーダーやリーダーとなる団体を育てることを目的とした人材育成のプログラムとして、環境活動を行う上での課題や問題の



菜園講座での野菜の収穫

解決を行うための「環境活動フォローアップ研修」や環境活動団体間の交流とネットワーク作りを目指す「3R討論会」なども行っています。現在この人材育成講座の受講生数名が西部3Rステーションの各種啓発講座のボランティア講師や助手を務めています。さらに最近では、地域の自治協議会や公民館等が開催する「環境講座」や「環境イベント」への助言や講師派遣を行うなど、施設の管理・運営だけではなく、外に出向いて地域に密着した活動も積極的に展開しています。というのも、冒頭に述べましたように、本施設は旧焼却施設の管理棟を再利用しており、比較的不便な場所に立地していることと、3R啓発施設らしい外観ではないことから、認知されにくく、利用者の拡大に繋がっていないこともあり、施設外活動に着手しているのです。この地域環境ボランティア支援事業にあたっては本施設の人材育成講座を受講し、本施設を拠点に活動する地域リーダーや地域環境活動団体と協働で行っています。実施例の一つは、人材育成プログラムの中で、レジ袋の削減に取り組む地域リーダーと一緒に講座用のスライドを作成し、「エコなふるしき豆知識」と題して、スライドと風呂敷を使った出前



地域リーダーとの出前講座

講座を展開しています。今後、更に施設外で行う事業にも力を入れて、市民の3R活動の継続と推進のために支援していきたいと考えています。そのためには、地域と地域環境活動団体とのネットワーク作りが鍵となってくものと感じています。

環境イベント「エコフェスタ」は、毎年、地域環境活動団体やNPO、大学の環境サークルの協力のもとに開催し、もの作り体験コーナー、おもちゃのかえっこバザール、講座受講者の作品展、フリーマーケット、物産展などで、多くの市民の参加があり賑わっています。2011年度は、新たな試みとして、地域環境活動団体が一堂に集まる「ワークショップ祭り」を開催し、不用品の有効活用について環境啓発を行い盛況のうちに終了しました。

このような、取り組みを行って来た結果、平成21年度、22年度ともに、約68,500人の方に利用して頂きました。

今後も（財）ふくおか環境財団は、西部3Rステーションの指定管理者として、市民が楽しみながら気軽に参加・体験ができる、市民参加型の学習プログラムや環境啓発イベント、人材育成プログラムなど様々なプランを企画し、市民の自主的な取り組みを促し、循環型社会への窓口となる施設を目指します。



夏休み子ども もの作り体験